



新入生の皆さんへ

学長 後藤 直正

春爛漫の今日、京都薬科大学へご入学されました皆さん、おめでとうございます。COVID-19禍で不自由な日々を耐えて、努力された学部入学生、大学院入学生の皆さんをお迎えすることは、本学のみならず、薬学界にとりまして大きな喜びであります。

数学者の秋山仁さんの言葉に「或る舟は東に進み、また他の舟は同じ風で西へ進む」とあります。風を推進力とする帆船は、帆の使い方次第で、順風であっても、逆風でも自在に進むことができます。また、風が強ければ強いほど大きな推進力が生まれます。いま、皆さんは、薬学という方向に触先を向けられました。吹く風を的確にとらえて夢の実現に向かって進んで頂きたいと思ひます。

医療を巡る社会では、円滑な医療、安心・安全な医療を提供するための薬剤師の職能と、その育成教育について改めて議論されています。順風が吹いているところか、厳しい意見も出されています。しかし、意見が厳しくとも、議論の対象になることは、重要な職業であり、医療

を円滑に進めるためにはなくてはならない職業である証であると捉えるべきです。

まだ議論半ばではありますが、医療界から出されている意見の大勢は「臨床教育の充実・拡大」という方向にあります。薬剤師の育成のために臨床教育を充実するべきことは言うまでもないことですが、単に臨床見学を増やせばいいというものではありません。薬学部での教育は、化学、物理化学、生命科学などの基礎科学の重視という点で医師、歯科医師、看護師の教育とは大きく異なります。病院であっても、薬局であっても、安全・安心な医療を提供するためには、職能の異なる医療職のプロフェッショナルが、それぞれの職能をもって疾患の治療にあたる必要があります。つまり、薬剤師は疾患の予防・治療に基礎科学を活かすことができるプロフェッショナルであるべきなのです。また、医療は経験則だけでは成り立ちません。医療行為の成果は、科学的根拠に基づいて評価されるべきであり、基礎科学なくして科学的根拠を得ることはできません。

CONTENTS

■ 特集

- 課題解決型プログラム（3年次生対象）
『社会人力養成講座』について…………… 4

■ ご挨拶

- 新入生の皆さんへ 学長 後藤 直正…………… 1
定年退職のご挨拶…………… 2
新任のご挨拶…………… 3

■ イベント

- 各種セミナーの報告書…………… 7
白衣授与式…………… 10
2020年度合同多職種連携教育(IPE)…………… 12

■ 報告

- 1年次生学内見学ツアーを実施しました…………… 14
2020年度京薬祭を終えて…………… 15
2021年度入学試験結果と総括…………… 16
2021年度大学院冬季募集の入学選考結果…………… 16
地域の小学校での薬物乱用防止教室の活動に新展開…………… 17
受賞・掲載…………… 22
京都薬科大学奨学寄附金芳名録…………… 24

■ コラム

- 水中でぶつぶつ…………… 11
私の薦める、私の一冊…………… 14
卒業生からのメッセージ…………… 18
学生相談室だより…………… 19

■ お知らせ

- PCR検査室の開設について…………… 3
単位互換制度～他大学の科目・講座を受けてみませんか～…………… 7
人事…………… 7
奨学金について…………… 8
京薬会だより…………… 10
生涯教育センターからのお知らせ…………… 13
2021年度オープンキャンパス開催のお知らせ…………… 15
2021年度学費等の納入について…………… 17
Library News…………… 18
クラブ・サークル紹介…………… 20

本学の教育方針は、薬局や病院で医療に直接に貢献する薬剤師の育成に限ったものではなく、「薬剤師として」企業、行政、大学、研究機関など、多岐に渡る領域で活躍する人材の育成にあります。基礎科学を基盤に臨床を理解し、貢献できる実力を身につけること、これが臨床現場で求められる薬剤師であり、多岐に渡る領域で活躍する「薬剤師」です。

大学院に入学された皆さんも、本学の大学院は6年制薬学を基盤としているということを忘れないで頂きたいです。基礎科学に基づいた研究を行う一方で、それが医療にどう貢献するのかということを常に考えて頂きたい。安易に創薬に貢献すると考えるのではなく、日々の研究の中で見出したことを如何に医療に活かすことができるのか、それを日々思索すること、これが6年制薬学を基盤にした大学院に求められることでしょう。

基礎科学を医療に役立たせるということを述べてき

ました。医療人となるためにもうひとつ必要なことは、患者さんの心の動き、経済状態、家族関係など、つまり医療技術を越えたことを理解できるようになることです。いまの歳では無理なことは当然のことですが、年齢、性格、境遇などが様々な人が集って社会が構成されていることを知ることが将来につながります。COVID-19禍の収束が見通せない現在、多々制約もありますが、その第一歩が本学キャンパスでの先輩や同級生との交流です。社会は多様な人で構成されていることを経験できる交流の輪が広がることを期待します。

最後に、あらぬ誹謗中傷に耐えてCOVID-19患者の治療にあたられている医療界の方々の姿を忘れないで頂きたい。その姿を継承するために薬学という方向に軸先を向け、歴史に残るパンデミックに遭遇し、医療人としてなにをなすべきかを学ぶ稀有の機会が与えられたと捉え、目標に向かって力強く進んで頂きたいです。

定年退職のご挨拶



創薬科学系
生薬学分野

教授 松田 久司

私は、学部も大学院も京都薬科大学で学び、大学院修了後は一般企業に勤め、一貫して生薬関連の品質管理や研究に携わっておりました。そんな折ご縁があり、1996年4月に本学に着任しました。在学時に比べて研究環境や研究マインドが大きく改善されていたことをしみじみと感じました。そんな中、大学のことは右も左もわからない私を周りの先生方には随分と助けていただきました。前任の吉川雅之名誉教授に指導を受けつつ、それなりに研究をはじめることができました。8年前に教授に昇任してからも、未熟で旧態依然とした研究ではありますが、これを我が道と心掛けて今日までやってきたつもりです。いまだ道半ばといっ

たところで、本学を離れてもしばらくは何らかの形で研究を続けたいと考えています。

教育面では、着任した頃は、板書の文字も小さくて汚い上に訛りがあるため、自分は大学に恥をかきに來たのかと思ったものです。少しずつ改善を重ねてきたつもりですが、授業アンケートのコメントのひとつひとつがボディブローのように効きました。改善できていなかったことに対して反省しております。ともあれ、私の講義に学ぶ楽しさを感じてもらえた学生が1人でもいたとすれば、私の目的は達成したと思っております。

私自身、一卒業生として母校に対するプライドと愛着を持つように、また、一教員として、どのようにすれば在学生や卒業生にそれらを持ってもらえるのかを自分に問いつつ、今日に至っています。

最後に、これまで、永年にわたり、ご支援していただきました皆様に厚くお礼申し上げますとともに京都薬科大学が大きく発展することを祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。



参事（図書館担当）

松田 敏

「テイコク主義者」が好き？

ー「在学」8年で図書館「卒業」を迎えてー

今、愛学館を吹き抜ける大階段を見上げて、自分が着任した日「どんな職場、職員が待っているだろう。学生気質はどうだろう」と、わくわくしていたことを思い出します。

強い印象の一つは「高度な時間規律」でした。会議へ10分前に入室すると、多くの人は既に着席。5分前

にはほぼ全員が揃い、3分前の到着者は「すみません。遅くなりました」。そして「時間より早いですが、全員揃いましたので」と開会。実は、あまりそういった経験がなかった私には、嬉しいショックでした。前任校でも、ある教育職員は「私は定刻主義者だ」と、遅参者を待つことなく会議を始めました。私はその風土が大好きだったので。

もう一つは、これからの学生のみなさんに。私はみなさんには天下国家を語ってほしい。そしてそれを背負う人、官僚に留まらず国政の場に活躍する人が出てほしいです。また、愛学館の大階段を駆け上るように、医療人となって、どの世界に進まれても、日本と世界の政治のことに、常に関心を持つ薬剤師として大切な役割を担ってほしいと望みます。

どの職員の方にも心から感謝を申し上げながら、学生のみなさんの活躍を祈念します。



事務局
進路支援課

課長 岩澤 伸裕

今日まで大過なく職責を果たし定年退職できますのは、良き上司・同僚・課員の皆さんに恵まれ、大変お世話になりましたおかげです。職員の皆様には心より感謝申し上げます。

私は、2012年7月に大日本住友製薬株式会社より本学に出向し、翌年7月に転籍いたしました。本学では一貫して、学生の進路支援業務に携わってまいりました。前職とは大きく異なる世界に飛び込んだこと

で戸惑いを感じることもありましたが、学生と進路について一緒に考え悩みながら、励まし、アドバイスするなど支援に関わる中で充実した時間を過ごすことができました。就職活動を経て成長し、夢を掴み取ろうと頑張る学生の姿からは、若き日の熱い気持ちが呼び起されました。また、進路が決まった時の満面の笑顔を見るたびに、幸せな気持ちを味わうことができました。本学での8年9ヶ月間の経験は、その全てが私にとって得難い思い出であり、貴重な財産となっております。

最後になりましたが、学生・職員の皆様のご健勝とご多幸並びに本学の今後ますますの発展をご祈念申し上げ、定年退職のご挨拶とさせていただきます。

新任のご挨拶



事務局
教務課

事務員 伊藤 息吹

2021年2月1日付で教務課へ配属となりました。この場をお借りして皆様へご挨拶申し上げます。前職では、地方自治体の観光協会にて、国内および海外の旅行会社や個人客に向けた誘致営業やSNSを活用した情報発信に従事したのち、経理として各種税金の申告や予算決算の関連業務に従事し、他国の文化や宗教への

敬意、SNSトレンドの把握、法令変更等の情報収集などを心掛けておりました。

昨年度から続く世界的な情勢により、学生の皆様の生活様式にも影響があり、日々様々な困難があることと存じます。学生の皆様には、このような状況下でも前向きな気持ちを携えて、今できることをコツコツと積み上げていただき、薬学という学問を通じて、本学での学びを未来の人々の生活を支えていくことへ繋げていただければと思います。

本学の発展に貢献し、皆様の学生生活をサポートできるよう、仕事に励ませていただきます。至らぬ点もあるかと思いますが、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

News お知らせ

PCR検査室の開設について

本学では新型コロナウイルス感染症に係る病原体核酸検査を行うための衛生検査所として、2021年1月18日にPCR検査室を開設し、2月15日より運用を開始しました。

本学に設置したPCR検査室では主に京都府内の施設で実習を行う本学5年次生のうち、実習前にPCR検査を各自で受検する必要がある学生を対象に無料で検査を実施します。現在のところ、その他の学内関係者や学外者の検査は予定していませんが、今後の感染拡大状況により行政から要請があった場合は対応できる体制を整えています。

概要

検査方法：RT-PCR法

検体種別：唾液

最大処理検体数：1日40検体

検査員数：（PCR担当者）最大14人、（唾液サンプル収集時監督者）最大4人

検査機器：CFX96 Touch Deep WellリアルタイムPCR解析システム

（米国バイオ・ラッドラボラトリーズ社製）

備考：・採取された検体は厳重に管理されたエリア内で本学検査員のみが扱います。

その他の学内関係者などが接触することはありません。

・検体は滅菌処理後、適切に廃棄いたします。

・現在のところ、上記の検査対象以外の検査は受け付けておりません。



ニュースリリース

課題解決型プログラム（3年次生対象） 『社会人力養成講座』について

本学では2019年度より大学での学びを活かして社会で必要となる力を養う「課題解決型プログラム」として3年次生を対象とした『社会人力養成講座』を開講しています。

今後、変化の激しい社会の中で活躍し続けるために必要な能力を身に付けるため、企業等の協力を得ながらワーク中心のプログラムを毎年ご用意しておりますので、ぜひご参加ください。

進路支援課長

Feature article.

■ 社会人力養成講座について

2020年10月～12月に『2020年度社会人力養成講座』を開講しました。この講座は3年次生の希望者を対象に、これまで大学で学んだ知識をフル活用して企業や病院から提示された課題に挑む「課題解決型プログラム」として、講師を外部に委託して昨年度から開講しており、今年で2年目となります。2020年度はTeamsを用いたオンライン講座として実施しました。

この講座は、変化の激しい社会の中を自ら学びながら成長し続けられる持久力（基礎体力）を鍛え、専門知識を活かすために汎用的能力の必要性を理解し、主体的学習習慣の定着につながることを趣旨としています。2020年度は実践型人材の養成（キャリアプランニング能力、問題解決能力、課題対応能力）並びに、専門科目の学びにキャリア教育の視点を位置付けられる意識の醸成を目的として受講生を募集しました。また、協力先として塩野義製薬・Meiji Seikaファルマ・ピアスの3社に依頼し、「健康」をテーマにそれぞれから課題を提案いただきました。

初回講義では、企業の担当者に課題についてパネルディスカッション形式で説明していただきました。その後、受講生はそれぞれが希望する課題を選択し、講師の指導のもと、グループを作り課題に取り組んでいきました。受講生の半数がオンライングループワークは初めてであったこともあり、最初はオンライン上でのグループ（チャンネル）の移動などに戸惑いもありましたが、徐々にオンライン上でのコミュニケーションに慣れていく様子が窺えました。

受講生は授業や学生実習等をオンデマンドや人数制限等、通常とは異なる形式で受講する中で、講座時間外もグループでTeamsやLINEなどを駆使し、限られた時間の中で課題解決に向けて一生懸命に取り組んでいました。最終発表前には、夜遅くまで何度もグループで意見交換をして解決案の改善を図るなど、最後まで妥協せずにやり遂げる力を身に付けていきました。

最終発表では、学内の協力のもと、感染対策を万全にした上で対面で実施することができ、リモート参加の企業担当者からも「プレゼン内容の完成度の高さに驚きました」とのコメントをいただくなど、全グループが素晴らしい発表を行いました。

当初は、後期講義期間に対面でのグループワークを交えた実施を予定していましたが、コロナ禍で講義もオンデマンドとなり、本講座についてもTeamsを用いたオンラインスタイルでの開講となりました。実施日程も大幅に変更となり、また実施についてスムーズにいかない点がありましたが、参加者並びに関係者の皆様のご協力のおかげで無事に開講することができました。皆様に厚く御礼申し上げます。



2020年度の講座目的

社会で活躍する“リーダー”について理解することで、それぞれが担う役割に気づき、自らの価値観や将来を考える力の素地を養い、実践できる。自立性・社会性・“リーダー”としての素養を育む学生支援として、実践型人材の養成（キャリアプランニング能力、問題解決能力、課題対応能力）並びに、専門科目の学びにキャリア教育の視点を位置付けられる意識の醸成を目指す。

【期待される学修成果】

- ・社会で求められる力の理解
- ・社会で力を発揮できるレベルと自身の現状のレベルを的確に把握している
- ・大学での学びと社会との関連づけ
- ・自身の学びを適切に評価し、大学での学びが社会でどのように役立つか意味づけられる
- ・課題解決プロセスの実践
- ・未知の課題に取り組むために、知識・スキルの獲得・統合・活用のサイクルを回すことができる
- ・変化する社会への関心
- ・変化する社会の動向に広く関心を持ち、情報を収集することができる

2020年度講座実施概要

◇受講生：3年次生希望者49名

◇取り組み課題及びグループ

①今後シオノギが取り組むべきビジネスについて新薬の研究開発および製造販売以外で考えて下さい
(塩野義製薬株式会社(シオノギ総合サービス))

3グループ (19名)

②【DX戦略】健康寿命延伸のためのアプリ開発 (Meiji Seika ファルマ株式会社)

4グループ (25名) ※DX：デジタルトランスフォーメーション

③未病の方の心の健康を叶える製品やサービスを考えてください (ピアス株式会社)

1グループ (5名)

◇講師：一般社団法人キャリアラボ 松田 剛典 氏

講座開講スケジュール ①：1講時 ②：2講時

10/12『オリエンテーション/課題提示』（企業リモート参加、パネリストディスカッション）①②

10/23『チーム作り/役割分担・行動計画の作成』①②

10/23～適宜 チーム別対応①②

11/20『情報収集と企画立案・プレゼン準備』①

11/27『情報収集と企画立案・プレゼン準備』中間発表①②

12/ 4『最終発表』（企業リモート参加、講評）①②

12/11『振り返り』①

**2020年度 3年次生対象
社会人力養成講座 開講**

講座について
学んだ知識は、実社会の場で活用して、初めて自分の力になります。この講座では、これまで大学で学んだ知識をフル活用して企業や病院から提示された課題に取り組めます。
変化の激しい社会の中で、病院、薬局、企業の役割も変化していきますが、正解は誰にも分かりません。そうした中で、真実にたどり着ける薬研陣には、常に自ら学びながら成長し続ける持久力（基礎体力）が重要になります。ワーク中心の課題解決型プログラムにぜひ挑戦してみてください！

開講期間：後期期間 1、2講時（全7回開講予定）

受講者の声
「学んだ知識をフル活用して、初めて自分の力になります。この講座では、これまで大学で学んだ知識をフル活用して企業や病院から提示された課題に取り組めます。」
「チーム作り/役割分担・行動計画の作成」
「チーム作り/役割分担・行動計画の作成」
「チーム作り/役割分担・行動計画の作成」

開講スケジュール（予定）

- ①「学びの意義/課題提示」
- ②「チーム作り/役割分担の方法と進め方」
- ③「情報収集と企画立案・プレゼン準備①」
- ④「情報収集と企画立案・プレゼン準備②」
- ⑤「情報収集と企画立案・プレゼン準備③」
- ⑥「最終発表」
- ⑦「振り返り」

講師
一般社団法人キャリアラボ 松田 剛典 氏

進路支援課
011-455-4077
info@careerlabo.jp

2020年度の募集チラシ

**2021年度 3年次生対象
社会人力養成講座**

**<後期開講>
9月～12月実施
（全7回開講予定）**

開講します！

**※所属協力企業※
塩野義製薬
Meiji Seika ファルマ
ピアス**

受講者の声
「ぜひこの経験から、未来の新しい時代に必要とする能力を自分自身で磨いていこうと思った。」
「この講座を通じて、自分の得意なことを活かして社会で活躍したいという目標が明確になった。」
「この講座を通じて、自分の得意なことを活かして社会で活躍したいという目標が明確になった。」

課題解決力
学んだ知識は実社会で活用して初めて自分の力になります。本講座では、企業等から提示された課題をグループで協力しながら解決していきます。

実践していく力
変化の激しい社会の中で正解は誰にも分かりません。その中で真実にたどり着けるためには、必要となる「実践していく力」を養える講座です。

講師
課題解決に向けて具体的な力やスキルを指導していきます。時には厳しく、皆さんをゴールに導いてくれます。

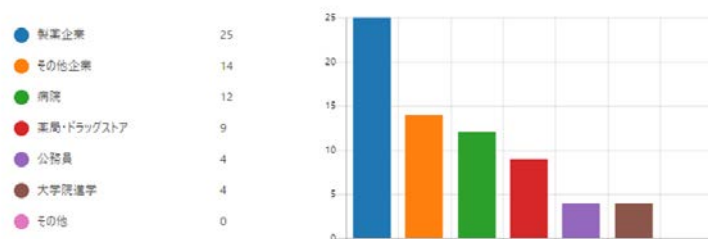
一般社団法人 キャリアラボ
011-455-4077
info@careerlabo.jp

2021年度の募集チラシ

2020年度受講者アンケート結果

2020年度受講者のアンケート結果は以下のとおりです。

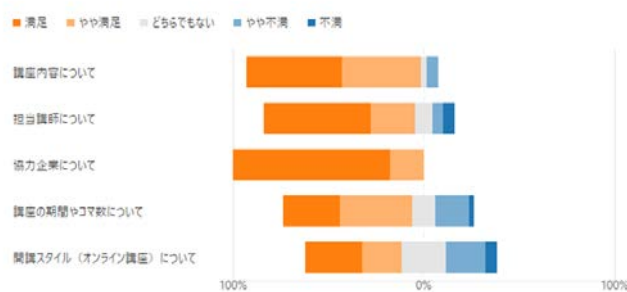
1. 現時点で興味のある進路をお答えください（複数回答可）



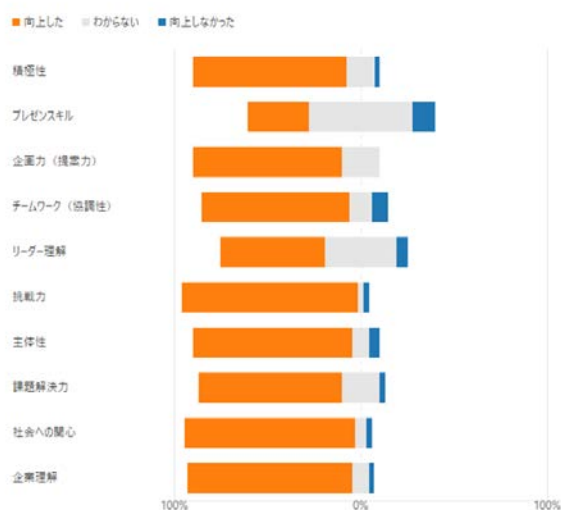
2. 講座に参加した理由をお答えください（複数回答可）



3. 講座に対する満足度をお答えください



4. 講座に参加して向上した点、しなかったことはありますか



5. 次回もこのような講座に参加したいですか



6. このような申込制の講座などに参加する上で重視するポイントは何か



2021年度開講に向けて

2021年度は今回の経験を踏まえ、対面及びオンラインを織り混ぜたハイブリット型の講座実施を予定しています。変化の激しい社会の中で正解は誰にも分かりません。その中で活躍し続けるために必要となる『実践していく力』を養うことができる講座です。受講生からも、「仲間と協力して難しいことも諦めずにやり抜くことの大切さや素晴らしさを実感できました。仲間のやる気や行動力に刺激されて、自分も意見を積極的に発言したり、行動するようになりました」「今回このような講座に初めて参加しましたが、非常に良い経験になりました。また、このような自分の能力向上につながる講座が開講されれば、積極的に受講しようと考えています。」などの声もあり、それぞれが自身の成長を実感できる機会になりました。

新3年次生の皆さんも是非この機会を有効に活用して、自分自身の成長を実感しませんか？

進路支援課 増村 友美

【単位互換制度とは】

本学は「大学コンソーシアム京都」の単位互換制度に参加しています。単位互換制度とは、大学コンソーシアム京都に参加している京都府内を中心とした大学・短期大学が提供する科目を履修し、単位を修得すれば本学の単位として認定される制度です。昨年度は加盟校から401科目が提供されました。

修得した単位は、1年間1科目2単位まで（通年科目は1科目4単位まで）を限度として、卒業要件である「人と文化」の選択科目の単位として加算されます。

他大学の授業を受講し、さらに学びを深めてみませんか？

なお、単位互換科目の取扱いについての詳細は、学生便覧並びにシラバスを参照して下さい。

■単位互換制度の魅力

- ①講義科目は文化・芸術・政治・自然科学などほぼ全ての学問分野にわたる科目が提供されています。
- ②講義形態は持出講義、既存講義があり、持出講義は「キャンパスプラザ京都」（京都駅前）にて集中講義や土曜日・夏季休暇期間に開講されるなど、他大学生でも受講しやすいよう工夫されています。
- ③講義を受講することにより、他大学生との交流の機会が広がります。
- ④受講生は単位互換履修生として、科目開設大学の図書館等を利用することができます。
- ⑤全ての科目を無料で受講できます。ただし、科目によっては、参考書・テキスト代等が必要。

受講の申し込みは、前期・集中・後期科目とも4月8日（木）13:00までにWebにて出願票作成後、教務課に提出して下さい。詳しい出願方法・授業概要・シラバス等については大学コンソーシアム京都のWebサイトを参照して下さい。

<PC><https://el.consortium.or.jp/login.php>

なお、上記URLからは科目開講時に休講・補講・試験等の連絡事項も閲覧することができます。



大学コンソーシアム京都

News 人事

採用

事務局教務課

事務員 伊藤 息吹
(2021年2月1日付)

再任用

RIセンター

医療薬科学系薬物動態学分野

准教授 河嶋 秀和

講師 伊藤由佳子

(任期：2021年1月1日～2025年12月31日)

新規採用

事務局施設課

契約専門職員 山下 登

(契約期間：2021年1月1日～2021年12月31日)

退職

医療薬科学系臨床薬学分野

助教 峯垣 哲也

(2020年12月31日付)

各種セミナーの報告書

Event

これまでに開催されたセミナーにおいて、本誌に未掲載の報告書は以下よりご覧いただけます。

■第11回 KPUシンポジウム

開催日：2020年11月1日～12月31日 ※オンライン開催

https://www.kyoto-phu.ac.jp/education_research/kpu_symposium/



■第6回 市民公開講座「放射線治療」

開催日：2021年2月15日～28日 ※オンライン開催

https://www.kyoto-phu.ac.jp/education_research/cancer2017-2021/pdf/20210215_report.pdf



学生生活における経済的な不安を少しでも解消し、安心して勉学に励むことができるように奨学金制度があります。募集については、随時manabaでお知らせしますので出願の機会を逃さないようにして下さい。なお、家計が急変した場合には、緊急・応急での採用も随時可能ですので、学生課に相談して下さい。

■日本学生支援機構奨学金（貸与型）

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し学資として貸与されるもので、貸与が終了した後、必ず返還しなくてはなりません。家庭の経済状況等に基づき、奨学金の貸与を受ける必要性、適正な金額、返還時の負担のことなどを十分考慮のうえ申込みをして下さい。定期募集は、年1回4月の募集のみです。奨学生に採用されると、卒業するまで貸与を受けることができます（留年中は停止）。

【奨学金の貸与月額】

奨学金の種類	貸与月額	
第一種奨学金 (無利子貸与)	自宅月額	20,000円、30,000円、 <u>40,000円</u> 、54,000円（何れかを選択）
	自宅外月額	20,000円、30,000円、 <u>40,000円</u> 、 <u>50,000円</u> 、64,000円（何れかを選択）
第二種奨学金 (有利子貸与)	20,000円～120,000円の中から希望月額を選択(10,000円単位) さらに最高月額（120,000円）に月額20,000円の増額希望可能	
入学時特別増額貸与 奨学金（有利子）	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の中から選択（大学1学年において 入学年月を始期として奨学金（第一種・第二種）の貸与を受ける者が対象）	

- 注) 1. 下線付きの月額は、2018年度入学者から新たに選択できる月額です。2017年度以前の入学者は、下線付きの月額を選択できません。
2. 自宅外通学の学生は、「自宅月額」「自宅外月額」の中から月額を選択することができます。
3. 給付型奨学金と併用する場合、区分によっては第一種奨学金の貸与月額が減額になります。

【奨学金の申込基準】

募集月	学力基準	年収・所得の上限額の目安					
		給与所得世帯			給与所得以外の世帯		
4月	高校 評定平均値 3.5以上	通学形態	上限額	最高月額選択時の 上限額	通学形態	上限額	最高月額選択時の 上限額
		自宅	804万円	753万円	自宅	396万円	353万円
		自宅外	851万円	808万円	自宅外	443万円	400万円
4月	学習意欲があり 学業を確実に 修了できる 見込みがある	通学形態	上限額		通学形態	上限額	
		自宅	1,147万円		自宅	739万円	
		自宅外	1,194万円		自宅外	786万円	

- 注) 1. 上表においては、本人、父、母（無職、無収入）、公立高校生の弟妹1人の4人世帯の年収・所得金額の目安です。
世帯員の人数、家庭事情等により異なります。
2. 給与所得者（年金受給者を含む）の場合は、源泉徴収票の支払金額（税込）です。
3. 給与所得者以外の場合は、確定申告書の所得金額です。
4. 奨学金の種類や貸与月額については、希望どおりとならない場合があります。
5. 基準を満たしていても、日本学生支援機構からの推薦内示数の関係で採用されない場合があります。

■授業料減免制度について

本学では、学内奨学金制度に加え、大学等における修学の支援に関する法律に基づく授業料減免制度及び、別途本学独自の授業料減免制度を設けております。

それぞれ、前期申請については4月、後期申請については10月に受付を行いますので、希望される方は、学生課に所定の申請書を提出してください。それぞれ申請時期になりましたら、manaba上に申請要領及び申請書を掲載します。

種別		減免額	募集人数	募集方法	対象等
授業料減免	授業料減免制度 (学部)	90万円 (半期授業料)	約20名	公募 (4月・10月)	経済的な理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀な学生 (年収600万円以下で、国の修学支援新制度対象外の学生)
	法令等に係る授業料等減免 制度	40万円(入学金) 90万円(半期授業料)	対象者全員	公募 (4月・10月)	国の修学支援新制度対象学生 対象: 日本学生支援機構 給付型奨学生採用者 (注) ・入学金の減免は、2020年度入学者で新修学支援制度対象者のみとなります (納付済み入学金を還付します)。ただし、10月採用者は除きます。 ・授業料の減免については、2期に分けて減免します。(前期450,000円 後期450,000円)

■高等教育の修学支援新制度（給付型奨学金・授業料等減免）

2020年4月より高等教育の新修学支援制度が始まりました。この新しい制度には、①日本学生支援機構による給付型奨学金の支給、②授業料等の減免の2つの支援があります。①の給付型奨学生として採用された方は、②の授業料等減免の対象者となります。4月と9月（授業料等減免の申請は10月）の年に2回募集を行います。

【支援対象になる学生】

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生（既に大学等に在学している学生も対象）

【支援を受けられる年収の目安と支給月額及び授業料減免額】

支援対象者	年収目安	給与所得以外の世帯	支給月額		授業料減免額 (年額のうち、以下の金額を減免)
	給与所得世帯		自宅通学	自宅外通学	
住民税非課税世帯の学生 (第1区分)	～約295万円	～約186万円	38,300円 (42,500円)	75,800円	900,000円
住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生(第2区分)	～約395万円	～約256万円	25,600円 (28,400円)	50,600円	900,000円
住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生(第3区分)	～約461万円	～約305万円	12,800円 (14,200円)	25,300円	900,000円

注) 1. 上表においては、本人、父、母（無職、無収入）、公立高校生の弟妹1人の4人世帯の年収・所得金額の目安です。
世帯員の人数、家庭事情等により異なります。
2. 生活保護（扶助の種類を問いません。）を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人は上表のカッコ内の金額となります。
3. 収入基準については、JASSOホームページに掲載している「進学資金シミュレーター」（右記のQR）でより具体的に確認できます。
4. 2020年度入学者で新修学支援制度対象者については、上記授業料減免に加え、入学金400,000円の減免を受けることが可能です（納付済み入学金を還付します）。ただし、10月採用者は除きます。
5. 授業料の減免については、2期に分けて減免します。（前期450,000円、後期450,000円）



【学業等にかかる基準】

新入生	2年次生以上
①高等学校等における評定平均値が3.5以上または、入学者選抜試験の成績が入学者の上位1/2の範囲 ②高等学校卒業程度認定試験の合格者 ③将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる	①GPA（平均成績）等が学部等における上位1/2の範囲 ②修得した単位が標準単位数以上であり、将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる

【その他要件】

- ・日本国籍、法定特別永住者、永住者等又は永住の意思が認められる定住者であること。
- ・高等学校等を卒業してから2年の間までに大学等に入学を認められ、進学した者であって、過去において本制度の支援措置を受けたことがないこと。
- ・保有する資産が一定の水準を超えていないこと（申告による）。

【適格認定】

支給の期間は原則卒業までですが、毎年1回家計基準と学業基準を満たしているか判定を行います（学業基準については上記基準と一部異なる）。それにより支援区分の見直しや、奨学金が廃止になる可能性があります。

その他、不明な点がございましたら、日本学生支援機構ホームページ(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>)をご確認いただくか、学生課窓口までご相談ください。

■京都薬科大学奨学金

本学独自の奨学金制度として、給付型・貸与型奨学金が設けられています。給付型奨学金は返還の必要がない奨学金で、貸与型奨学金は、卒業後返還となる奨学金です。公募となる奨学金は申請が必要である奨学金のため、申請を希望される方は、必ず指定の期間内において申請をして下さい。奨学金の詳細は募集時期になりましたら、manaba上の各学年掲示板に掲示を行います。

種別		金額	募集人数	募集方法	対象等
給付型	新入生特待生	半期授業料(90万円)	約10名	大学選考 合格通知書に特待生通知書を同封	【2019年度入学者から適用】 新入生：入試成績上位者 《採用人数》一般入試A方式：4名 一般入試B方式：5名 一般入試C方式：1名
	成績優秀者	5～20万円 (特待生は90万円)	各学年 約15名	大学選考 (4月)	【2019年度入学者から適用】 2年次生～6年次生 成績優秀者上位15名 新入生特待生制度を利用して入学した学生が、上位10名以内であれば90万円給付
	研究・課外活動優秀者	5～20万円	約10名	公募 (3月)	2年次生～6年次生 研究・課外活動において、顕著な実績又は成果を挙げた者
	遠隔地出身学生 (新入生予約制度)	60万円(月額5万円)	約12名	事前公募 (12月) 追加募集がある場合、4月に 別途manaba等により案内	【2021年度入学者から適用】 ・通学に合理的と認められる経路及び方法を利用し、片道120分以上を要する所在地に自宅(保証人の在住地等)があり、下宿生活をしている学生(保証人の所得基準有) ・入試前に公募、予約採用を決定する ・採用者が未入学等により、定員に余剰が出た場合、追加募集を行う ・6年間受給可能(継続審査あり)
貸与型 (無利子)		年額授業料の1/2以内	約10名	公募 (10月)	授業料の支払が困難な者 在学中に1回 10月募集、11月下旬貸与

■その他の奨学金

地方自治体や企業、その他団体の奨学金制度があります。募集中の奨学金制度は、manaba上に掲載しており、随時更新しております。その他奨学金の募集に関して、相談・申請を希望される方は学生課までご相談下さい。

【学生課を通じて募集している奨学金（一部のみ掲載）】2020年度実績

奨学団体名	種別	月額	出願資格
河内奨学金	給付	40,000円	薬学部 一年次生
佐藤奨学会	給付	25,000円	大学・大学院に在籍し、学業・人物が優秀であり、学資支弁が困難と認められる学生
森下仁丹奨学金	給付	30,000円	志操堅実、学力優秀であり、経済的理由により学業の継続が困難な大学生・大学院生
あしなが育英会	貸与	40,000円	保護者が病気・災害等で死亡またはそれらが原因で後遺障害を負っている学生
交通遺児育英会	貸与	40,000円～	大学・大学院に在籍しており、保護者等が交通事故により死亡または高度後遺障害を負った者
各病院・薬局独自の奨学金制度	貸与等		各薬局・病院が独自に募集している奨学金制度や返還助成制度等

その他多くの奨学金をご紹介します。

白衣授与式

Event

庶務課

2021年2月17日（水）午前10時から創立130周年記念館において、COVID-19感染拡大防止の対策を講じて白衣授与式を挙行了いたしました。

今回学生に授与した白衣は、教育後援会と京薬会からのご支援によるものです。

白衣授与式は、翌年の新5年次生全員を対象に病院・薬局での実習前に、将来薬剤師（医療従事者）となる者の責任と京都薬科大学の学生であることの自覚を再度認識していただくため、毎年度この時期に開催しているものですが、今年度は第1期実務実習に参加する学生（104名）については実習開始の2週間前までに実習中の居住地に移動（帰省）しなければならないことから、残念ながら式典に出席していただくことができませんでした。式典では、学生の代表者が学長から白衣を授与された後、全員が校章と大学名の入った白衣を着用しました。その後、後藤学長からの式辞、矢野臨床薬学教育研究センター長からの「実務実習に向けた心構え」の説明後、教育後援会の岡本会長様と

京薬会の西野会長様からそれぞれ挨拶をいただきました。

最後に学生の代表から「数年後、私たちが一医療従事者として世の中に小さくも力強い救いの手を差し伸べられるよう、実習に、全力で向き合う」との誓いの言葉が述べられ、閉式となりました。



真新しい白衣に袖を通し、気持ちも新たに

News 京薬会だより

<4年次生に白衣授与>

白衣授与式が2月17日に挙行されました。京薬会は、教育後援会とともに学外実習に参加する新5年次生の皆さん全員に白衣を贈呈しました。Withコロナとなった社会の第一線現場では大変でしょうが、京都薬科大学ネーム入りの白衣を着用し、自覚とともに5か月間の貴重な経験、実践力を積んでいただくよう活躍をお祈りします。



白衣授与式で後輩を激励する西野会長



若山牧水、旅と酒、恋愛、ことに酒の秀歌は万葉の山上憶良と並ぶと評される、大正時代の歌人。

白玉の 齒にしみとほる 秋の夜の 酒はしづかに 飲むべかりけり

は代表作のひとつとも言われている。酒を称えた珠玉の初句「白玉の」、そして酒に言葉はいらないのだと「しづかに」に落とし込んでいる。

もう四十年近くにもなるが、松本にいたとき、本歌に憧れ、居酒屋「しづか」に通ったことがある。そこは年季の入ったどっしりとした、木曽の木材造りの建物で「しづか」に値する店ではあったが、残念なことに静かなところではなかった。

昨年十一月、比叡山回峰道を巡るべく、無動寺谷道から釈迦堂付近の本覚院跡に至り、若山牧水の歌碑と出会った。

比叡山の 古りぬる寺の 木がくれの 庭の 簀を 聞きつつ眠る

回峰道は初めてで、まだ先が長く、どんなところか分からないことから早く行かねばと気がはやり、歌に気を留める余裕なく行き過ぎた。その後、なんとか碑を通るうちに余裕もでき、牧水が同じ地に立ったことに感慨を覚えるとともに、「古い寺の雑木に囲まれた簀(かけい)を流れる水の音を聞きながら眠った」、そんな単純なことを詠ったものではない、なにかが隠れている。それを解く鍵は「簀を聞く」で、「簀を流れる微かな水の音を聞く」ことではないか、また、牧水たるもの、修行の地、比叡山とは言え酒を飲まずに眠ったのかとも考えるようになった。



牧水歌碑@比叡山・釈迦堂付近 (210130)

碑の説明文によれば、牧水は大正七年五月に比叡山に登り、寺男が独り住む、荒れ果てた本覚院に一週間滞在し、寺男と夜ごとに杯を傾けてお互いの人生を語り合ったそうである。これは事実だろうが、これでは夜ごとに酒飲み話をしたにしか過ぎないし、それでは本歌が醸すものと合わない。

「若山牧水と本覚院」(吉川宏志: 青蜉通信二〇一六年二月号)に、老爺は家財のみならず、家族まで失ったどん底の放浪生活の末に寺男になり果てたとある。寺男に至るまでに加え、吉川氏が引用されている、

言葉さへ 咽喉(のど)につかへて よういはぬ この酒すきを 酔はせざらめや

でなぞが解けた。なにも言えず、語ろうとしなかった老爺の口から、躊躇しつつも酒に押された思いと悔いの言葉を牧水は聴きとめる。いつときとは言え、老爺が背負ってきた重い荷を下ろさせた。一夜でふたことみことだったのかもしれない。「しづか」な酒のときににじみ出た言葉、それが「簀を流れる水の音」によって蘇える。短歌の魅力を味わえた。

今年度も京都橘大学と合同で実施している多職種連携教育（Interprofessional Education; IPE）を12月21日に開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、集団感染防止の観点から開催が危ぶまれましたが、アルコールによる手指消毒やフェイスシールドおよびマスクの着用、ソーシャルディスタンス、講義室の換気、など十分な感染防止対策を行い、無事にIPE研修会を開催することができました。

IPE研修会は、薬学、看護学、理学療法学の3領域の学生が一堂に会して多職種連携について理解を深める研修会で、2016年度から開催して今年度で5回目を迎えます。IPEの目的は「①医療チームの一員として自分の専門職の役割を理解する」、「②他の専門職の視点、考え方、役割を学ぶ」ことであり、異なった医療人教育を受けている薬学生・看護学生・理学療法学生が共に話し合い（SGD）を通じて多職種連携の考え方などを知り、各職種にはどのような強みや弱みがあって、各職種が協働してどのような形でチーム医療に貢献できるのかを理解することが大きな目的です。

本年度の研修会に参加した学生は28名（京都薬科大学：5年次生8名、京都橘大学看護学部：4年次生14名、京都橘大学健康科学部理学療学科：4年次生6名）でした。症例シナリオは「心原性脳梗塞により片麻痺になった患者に対する在宅でのチーム医療連携」で、I部ではまず同じ学部の学生同士でSGDを行い、このシナリオについて「各専門職として何がで

きるか？」についてのアウトカムを考えたあと、II部では各学部の学生が混ざった学部混成グループにして「各専門職としてだけではなく、チーム医療を実施するための共通目標を立てること」をアウトカムにしてSGDを行いました。実際に研修会を行ってみると、I部では同じ教育を受けているため議論がスムーズに進みましたが、II部では参加した学生達は各専門の医療人教育を受けてきているため、それぞれの立場からの考え方の違いが明確になり、それぞれの意見をうまく統合させた共通のアウトカムを導き出すのに苦労している様子でした。しかし、本研修終了後の学生からは「同じシナリオであるにも関わらず、着眼点が異なり、普段では思いつかない視点があることに気づかされた」という意見が多く挙がっていました。アンケート調査で「本IPE研修を後輩に勧めますか？」という質問に対して、ほとんどの学生が「はい」と回答していました。

これからの医療は“病院完結型医療”から“地域連携型医療”にシフトします。これに対応するためには、治療（cure）だけでは不十分であり、発症後の介護・福祉も含めたケア（care）も重要になります。そのため、自らの専門的能力だけではなく、他職種の役割を理解した上で、多様な専門職と協働し、患者や利用者のニーズに応えていく実践的な能力を身に付け、医療現場で働き始めた当初から円滑なチーム医療を実践できるように学生時代からしっかり多職種連携について理解しておくことが重要であり、非常に大切な研修会であると考えています。



I部では学部ごとにSGDを行いました



II部では学部混成グループでSGDを行いました

■2021年度生涯研修プログラム「卒後教育講座」および「eラーニング講座」申込受付中です。

◇「卒後教育講座」モノからヒトへの挑戦～患者のための薬学的介入の実践～

新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら開催します。定員制限、座席指定にご協力をお願いします。

*日程：2021年5月16日(日)、6月13日(日)、7月4日(日) 10:00～16:00

*場所：京都薬科大学躬行館3階 T31講義室

*定員：150名(予定) *受講料：12,000円 *認定単位：G24 計9単位(1単位/1演題)

*申込受付期間：2021年3月1日(月)～5月6日(木)

*申込方法：生涯教育センターホームページよりお申込みください。 <https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

開催日	10:00～11:30	12:30～14:00	14:15～15:45
2021年 5月16日 (日)	慢性腎臓病の考え方と 腎機能低下時の 薬物投与について 八田内科医院 理事長・院長 近江八幡市立総合医療センター 腎臓センター 顧問 八田 告 先生	CKD患者における 薬物動態の変動 京都薬科大学 医療薬科学系 臨床薬学分野 講師 辻本 雅之 先生	小児薬物療法の現状と問題点 ～小児薬物療法において 薬剤師は何をすべきか～ 医療法人同愛会小澤病院 薬剤部長 昭和大学薬学部 病院薬理学講座 兼任講師 富家 俊弥 先生
2021年 6月13日 (日)	アレルギー性疾患について ～特に、アレルギー性結膜疾患について～ 京都府立医科大学 眼科学講座 特任准教授 上田 真由美 先生	即時型アレルギーのメカニズム 京都薬科大学 病態薬科学系 薬理学分野 教授 田中 智之 先生	検査値を用いた個別化医療の実現 千葉大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長 石井 伊都子 先生
2021年 7月4日 (日)	地域包括ケアシステムにおける 薬局の役割 ダイドー薬品株式会社 代表取締役社長 山本 新一郎 先生	薬局・病院での栄養療法の 基礎から実践まで ～現場で使える栄養療法～ 京都桂病院 薬剤科 経営企画室兼務 野崎 歩 先生	薬局・病院での栄養療法の 基礎から実践まで ～現場で活かせる基礎知識～ 京都薬科大学 生命薬科学系 衛生化学分野 教授 長澤 一樹 先生

◇「eラーニング講座」

2021年度卒後教育講座および2021年度漢方講座を新規コンテンツとします。受講期間を大幅に延長しましたので、対面での研修会に代わる受講や理解度に合わせた学習にご活用ください。なお、2020年度eラーニング講座コンテンツ(漢方基礎入門講座6回コースを含む)も再配信します。

*配信期間：2021年6月1日(火)～2022年2月28日(月)

*受講料：15,000円 *認定単位：G24 計46単位予定(1単位/演題)

*申込受付期間：2021年4月1日(木)～2022年2月28日(月)

*申込方法：生涯教育センターホームページよりお申込みください。 <https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

●本学の学生・職員は、今年度も2021年度eラーニング講座を無料で受講できます。受講希望者は、実務・生涯教育課までメールでご連絡のうえ、生涯教育センターHPから2021年度eラーニング講座にお申込ください。詳しくは、manaba掲示板でご確認ください。皆さんの参加をお待ちしています。

●KPUニュース1月号では、座学の講座(卒後教育講座、フィジカルアセスメント講座<入門コース>、漢方講座)について、本学学生・教職員の無料聴講をご案内していましたが、2021年度の本学学生・教職員の無料聴講は、**eラーニング講座のみに**変更させていただきます。ご理解のほどお願いいたします。

■問合せ先

京都薬科大学 実務・生涯教育課

*E-mail: s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp

*TEL: 075-595-4677 (平日10:00～16:00)

*FAX: 075-595-4792



2021卒後教育講座
申込ページ



2021eラーニング講座
申込ページ



京都薬科大学
生涯教育センター
ホームページ

薬理学分野 教授 田中 智之

佐倉統 著

『科学とはなにか』

講談社、BLUE BACKS

ファーマシスト・サイエンティストの理念を掲げる本学では、1年次生の講義から「科学とはなにか」をテーマにした授業があります。「科学とはなにか」、考えて見たことはあるでしょうか？COVID-19のパンデミックの中で、多くの人が「科学」を再考しています。欧米の製薬企業が通常数年はかかるワクチン開発を1年という短期間で成功させたことは、パンデミック終息に向けた明るいニュースです。一方、アメリカではマスクをつけないことが



トランプ支持の政治的なシグナルとなったこともあり、感染が拡大しました。ワクチンを忌避する動きもあり、予断を許さない情勢です。NASAをはじめ先端科学の大国であるアメリカですが、COVID-19への対応はうまくいきませんでした。現代では「科学」は社会の欠かすことのできない構成要素なのですが、一方で私たちは「科学」とうまく付き合えているとはいえません。

本書は、動物行動学から社会と科学技術を考える領域へと活躍の場を広げてきた佐倉統先生による「科学とはなにか」という議論です。タイトルは堅いですが、具体的な事例を豊富に取り上げ、読者が「科学とはなにか」を考えるきっかけを与えてくれます。軽妙な文章はとても読みやすく、取り上げられるエピソードはそれだけでも十分興味を持って読めるものばかりです。薬剤師は、薬という先端科学の成果のかたまりのようなものを取り扱うわけですが、届ける相手は科学者ではありません。薬物治療を全否定するような患者さんもいます。実は薬剤師は科学と社会の狭間で悩むことが多いのです。本書はそんなときにきっと役立つことでしょう。

1年次生 学内見学ツアーを実施しました

Report

学生部長 上野 嘉夫

2020年度の入学生は、COVID-19の影響で入学当初から大学内での学修や課外活動の機会が例年より著しく少なくなりました。学生部委員会では、1年次生に少しでも学内の研究室や施設を知ってもらって、知らなかった世界を発見し、これからの大学生活や将来への夢を膨らませてほしいという思いから、学内見学ツアーを企画し、3月2日に実施しました。

見学当日は荒天でコースを一部変更しましたが、参加希望者20名を4名1組で引率者（教員、上級生）が本校地、南校地の施設を案内しました。参加学生は質問をしながら熱心に見学し、同行の上級生も含めた繋がり作りもできたようです。参加者アンケートでは、今まで身近でなかった施設や研究室を見られたこと、作業体験もできたことから、3年次での研究室配属が楽しみという声が多くありました。また、先輩との質問コーナーも楽しかった様子で、このツアーを通してやる気がでた、新学期からの活力になったというような感想がありました。同行の上級生も新しい発見があったようで、大変意義深いツアーとなりました。

ご協力いただいた職員、上級生の皆様に御礼申し上げます。



臨床薬学教育研究センターでの作業体験



研究室（薬理学分野）見学の様子

今年も無事に京薬祭を終えることができました。

京薬祭の開催を迎えるにあたり、多くのご支援、ご協力を賜りました大学の皆様、京薬会の皆様、本当にありがとうございました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

今年度の京薬祭はコロナウイルスの影響により例年とは大きく異なった、オンライン形式による学園祭を実施しました。今までの京薬祭の伝統を持ち合わせた、新しい京薬祭にすることをモットーに様々な企画、運営を行いました。

まず今年度の特色といえるのが京薬祭ホームページの作成です。ホームページを通じて開催日時やタイムスケジュール、部活動・サークルの紹介などを行いました。初めての試みでしたが、オンライン配信という形式にフィットしており、今年度の京薬祭では活用することが出来ました。福引き企画ではホームページから誰でも参加できるようにし、より多くの人に配信を視聴していただくことが出来ました。画面越しではありますが例年同様の福引き企画の緊張感を味わっていただくことが出来たのではないのでしょうか。さらに、今年度の新しい企画として部活動・サークル紹介動画企画を実施しました。コロナウイルスの影響で部活動・サークルのことがあまり分かっていなかった1年次生や、京都薬科大学を志望している受験生などが視聴して下さっていたら幸いです。

学園祭開催までの経緯についてですが、7月の段階ではまだ学内で実施することを前提としていました。しかし、感染の危険性を考慮しオンラインでの開催に変更しました。また、本来であれば11月に学園祭を開催するのですが、準備期間が不足したため12月に延期し、どうにか開催することが出来ました。

上述したように、状況が転々と変わっていったこともあり、実行委員も私自身も常に不安を抱えたまま京

薬祭の準備を行っていました。特に今年は準備期間が短いにもかかわらず、例年とは異なった形式だったため本当に大変でした。開催できるのか、準備は間に合うのかなどの懸念を抱えながらも、学園祭開催という判断をした私に約半年間協力してくれた実行委員には本当に感謝しています。

学園祭を終えて、新しい学園祭を実行する難しさを痛感しました。アイデアが浮かんでも、それを実行するためには様々な制限がかかってしまいます。どの程度の人員、予算、時間がかかるのかがそれに該当すると思うのですが、その制限がある上で、行うメリットがあるのかという判断を下すことがとても難しかったです。ですが、学園祭を中止せずに実施したこの経験が来年度の京薬祭に繋がると考えています。来年度もコロナウイルスの影響でどうなるのか予測できませんが、対応できるように引き継ぎたいと思います。

最後に、オンライン学園祭を視聴してくださった皆様、出演者の方々、そして京薬祭実行委員会の皆さん、本当にありがとうございました。実行委員長という貴重な体験を今年度の京薬祭で経験できたことを光栄に思います。



ステージ企画の様子

News

2021年度オープンキャンパス開催のお知らせ

入試課

2021年度のオープンキャンパスを下記の日程で行いますので、お知り合いの受験生、高校生および高等学校の先生方に是非ご案内くださいますようお願いいたします。

詳細および開催につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し決定いたします。詳細が決まり次第本学公式Webサイトでお知らせいたしますのでご確認ください。

■2021年度オープンキャンパス

〈開催日〉

2021年6月6日（日）

2021年8月7日（土）・8日（日）

2021年10月24日（日）



受験生サイト

お問い合わせ

入試課

T E L : 075-595-4678

F A X : 075-583-2232

E-mail: kpu-koho@mb.kyoto-phu.ac.jp

2021年度入学試験結果と総括

Report

入試課

2021年度の学部入学試験が終了しました。志願者数および合格者数は下表の通りです。

2021年度入学試験の志願者数は前年比228名(11%)減少し、1,857名となりました。

大手予備校の調査によると、今年度の動向としては、現役生を中心に国公立志向が高まったこと、コロナ禍の影響で理系学部に人気が集まったこと、また昨年に続き地元志向が強かったことが特徴でありました。

本学での入試は、試験室の収容人数を通常の半分とし、間隔を空けて座席を配置したほか、机・椅子の消毒を試験前後に実施するなど、受験生が安心して受験できる環境を整備しました。また、一般選抜B方式では、創立130周年記念館を試験室として活用するなど、例年とは異なる体制で実施しました。

一方、入試広報活動はコロナ禍の影響を受け、6月・

8月のオープンキャンパス開催は見送ったものの、新たな試みとしてWEBオープンキャンパスを開設し、多くの方にご覧いただきました。10月のオープンキャンパスは事前予約制で感染症予防対策を万全に講じたうえで対面で開催し、参加者の皆様からは大変ご好評をいただくことができました。また、進学説明会・相談会もオンラインで実施し、熱心な受験生とコミュニケーションをとることができました。オープンキャンパスでは今後も学生広報スタッフの募集を継続しますので、興味のある在学生の皆さんはぜひ4月に開催される説明会に参加してください。

2022年度入学試験においても広報活動を通じて本学の魅力を伝え、志願者獲得に努める所存です。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

	募集人員	志願者数	合格者数
学校推薦型選抜 (指定校制)	50名	48名	48名
学校推薦型選抜 (一般公募制)	80名	233名	83名
一般選抜A方式	45名	685名	365名
一般選抜B方式	180名	862名	407名
一般選抜C方式	5名	29名	14名

(合格者数は3月15日現在)

2021年度大学院冬季募集の入学選考結果

Report

入試課

2021年度薬学専攻博士課程(冬季募集)の入学選考を1月26日(火)に実施し、同日に合格発表を行いました。また、2021年度薬科学専攻博士前期課程(冬季募集)の入学選考を2月12日(金)に実施し、2月17日(水)に合格発表を行いました。入学選考の結果は表のとおりです。

■ 2021年度薬学専攻博士課程(冬季募集)の合格者数等

	冬季募集	2021年度合計(夏季募集含む)
志願者数	2名	11名
受験者数	2名	11名
合格者数	2名	11名

■ 2021年度薬学専攻博士前期課程(冬季募集)の合格者数等

	社会人	2021年度合計(夏季募集含む)
志願者数	1名	1名
受験者数	1名	1名
合格者数	0名	0名

2021年度学費等の納付書を保証人様宛てに送付いたします。
下記の納入期限までに、学費等を納入してください。

	前期	後期
納付書発送	4月上旬	9月中旬
納入期限	4月30日	10月31日

- 経済的な事情により、期日までに納入ができない場合は、学生相談員(3年次後期以降は分野主任)に相談し、事務局学生課にて速やかに学費延納手続を行ってください。
- 所定の期限までに納入がない場合は、講義・実習等の受講及び各種証明書の発行が停止され、定期試験等の受験資格を失うほか、進級・卒業にも影響し、場合によっては退学処分となりますので、十分注意してください。

<納入手順のお願い>

金融機関窓口で納入される場合は、本学から発送しました納付書をご利用ください。

本学指定の金融機関をご利用いただきますと、振込手数料が無料となります。

なお、インターネットバンキングやATMをご利用される場合は、納入確認が困難となる事例が発生しておりますので、以下の点に十分ご注意くださいようお願いいたします。

振込人名義は、本学納付書の太枠のお振込人欄に印字された整理番号（半角のアルファベットと数字の組み合わせ）、学生氏名を必ず正しく入力してください。

※保証人その他のご家族等、学生ご本人以外の名義で振り込まれた場合、本学にて納入確認ができない可能性があります。

地域の小学校での薬物乱用防止教室の活動に新展開

Report

薬品分析学分野 教授 武上 茂彦

地域社会貢献活動の一環で、山科区の音羽小学校に訪問して、以下の内容で薬物乱用防止教室をおこないました。音羽小学校での薬物乱用防止教室の開催は今回が初めてです。開催のきっかけは、毎年薬物乱用防止教室をおこなっている安朱小学校の校長先生の紹介でした。安朱小学校での本活動内容を聞かれた音羽小学校の校長先生の依頼で、前年に音羽小学校の教職員向け研修として、安朱小学校での薬物乱用防止教室の活動目的と内容について講演いたしました。その後、「音羽小学校の児童にも薬物乱用防止教室を開いてください」と音羽小学校の校長先生から正式に依頼され、開催することになりました。

これまでは、小学校での薬物乱用防止教室活動を基礎演習で担当する1年次生10名とおこなっていましたが、今回はCOVID-19の影響で1年次生と一緒にこなうことはできず、当分野の5年次生2名と実施しました。

学生たちは、COVID-19感染防止対策を講じながら、小学生と一緒にグループワークを楽しみ、積極的に小学生たちとコミュニケーションをとっていました。授業後の小学生の感想文には、「自分の体に入れるものは前もって調べて、自分の体は自分で守る」、「今日覚えたことを知らない人に教えたい」といったことが書かれていました。

将来、薬剤師として薬物乱用防止活動をおこなう立場となる本学学生に、どのように企画・実施すればよいのかを考えてもらう1つのアイデアを提供できていれば幸いです。

■ 小学6年生 2クラス（全59名）対象

- ・ タイトル 「カフェインについて学ぼう」
- ・ 内容
 - 導入（カフェインは何に入ってる？カフェインのプラス効果）
 - カフェインクイズ（どの飲み物が一番多いでしょう？）
 - カフェイン量調べ（緑茶、コーヒー、コーラ、エナジードリンク、薬、栄養ドリンク）
 - 説明（カフェインのマイナス効果）
 - 班ごとに学んだことの振り返り
 - 発表



本学学生も一緒にグループワーク（カフェインクイズ）を楽しみました



カフェインのマイナス効果の説明を真剣に聞いています

つながる未来へ

家原 由貴



2014年 学部卒業
(代謝分析学分野)

大阪医科薬科大学病院
薬剤部

皆さんは大学病院の薬剤師の仕事にどんなイメージを持っているでしょうか？学生の頃の私は、専門性に特化した仕事や1つのことを極めていく…など、スペシャリストというイメージを強く持っていました。実際に働いてみると、そのイメージ通りの点も勿論ありましたが、もっとももっと多面的でした。

「目指せ何でも薬剤師」をキャッチフレーズに、お薬のことには何でも関与し、様々なことに気付き、行動できる薬剤師を目標として掲げている病院で働いています。1日の業務の内容は1～2時間ごとに変わり、まるで学校の時間割を彷彿とさせます。

また、病棟業務においても、この6年間で消化器外科、消化器内科、心臓血管外科・呼吸器外科と3つの病棟を経験することができています。そういったジェネラリストとしての面を磨きながら、NST※専門

療法士という資格を取得することができました。まだまだ、未熟者ですので日々勉強の毎日です。臨床の現場で疑問にぶつかったとき、文献など調べ物を行います。学生の時に学んだ情報から、日々進歩していることもあります。考え方や読み解き方は変わりません。学生時代に学んだ姿勢が、今の私の土台になっていると思います。試験前に必死に覚えた語呂合わせでさえ、今でも思い出すことがあり、そのたびに学生時代を懐かしく感じます。

ここまで勉強や技術面にふれて書いてきましたが、仕事で最も大切なことは人との関わり方だと思っています。病院に限らず、社会にでて働き始めると、今まで会ったことのない分野の人と関わることも多いかと思っています。自分とは異なる意見や考え方に触れたときに、改めて自分の考えや現状のルールが正しいかどうか検討することができます。

コロナ禍の中で、対面で人と接することが難しい時期になっています。ですが、画面や文字を通して伝わることや考えさせられることも多いのではないのでしょうか。学生時代に様々な考えや意見にふれ、多様性に目を向けることは、働く際のコミュニケーションに役に立つと思います。自粛期間が続く、学生生活にも制限がかかっていることが多いかと思いますが、この期間だからこそ、できることもあります。お互い、乗り越えられるように頑張りましょう。皆さんと同じ現場で働けることを楽しみにしています。

※NST: Nutrition Support Team(栄養サポートチーム)

Library News

SciFinder[®]が利用できるようになりました！

図書館

本学では、論文・特許に加え世界中の化学物質および有機化学反応情報を網羅的に検索できるデータベースSciFinderを契約していますが、2021年よりバージョンアップ版のSciFinderⁿ（サイファインダーエヌ）を利用できるようになりました。SciFinderⁿでは、Retrosynthesis PlannerやSimilarity スコア、アラート結果の表示等、既存機能の強化だけでなく、「Chemscape」「配列検索」「Bioscape」など新たな機能も追加されています。

従来版 SciFinderのUsernameをお持ちの場合は、これまでと同じUsername・パスワードをご利用いただけますが、お持ちでない方は新規ユーザー登録が必要となります。なお、SciFinder は将来的にサービス中止が検討されておりますが、サービス提供中は引き続き、ご利用いただけます。SciFinder の保存回答やアラートをSciFinderⁿへ移行される場合は、併用期間内にご対応ください。詳しい利用方法やマニュアル、e-ラーニング等に関するご案内は、“図書館ホームページ＞データベースで探す＞SciFinderⁿ”に掲載しています。研究活動を効率的に展開するためにも、ぜひご活用ください。

<https://www.kyoto-phu.ac.jp/library/pdf/SciFinder-n.pdf>



◇本学図書館の開館日程についてはホームページをご覧ください。

<https://www.kyoto-phu.ac.jp/library/>



■ COVID-19禍における平穏なこころの保ち方

新年度を迎えました。新入生みなさま、ご入学おめでとうございます。大学生活への期待や不安、様々な気持ちを胸に新たな生活をスタートさせていらっしゃると思います。

また、在学生みなさまにおかれましても、それぞれの決意の中で、こころ新たに学生生活に取り組もうとされていると思います。

さて、本来であれば、春の風物詩である、美しい桜並木を囲んでのお花見や、様々な歓送迎会等がにぎやかに催される時期でもあります。今年はなかなかそうともいかないようです。COVID-19という目に見えないウイルスが各所にもたらす影響が長期化し、どこかもやもやとしたスッキリしない気持ちが続いている方も多いのではないでしょうか。

長引くCOVID-19禍の影響が様々な形で表れている昨今、メンタルヘルスへの影響も看過できないものになってきています。「不安な状況がいつ終わるのかもわからない、見通しのつかない状態」は、人のこころをじわじわと追い詰めます。そんな中、メンタルヘルスを維持するためには悪化予防と早期対応が大切なポイントとなりますが、人と人とのつながりが以前のように持ちづらくなり、気分転換のための外出機会も減ってしまっている生活様式の中、ストレス発散が難しくなっていることもあるかもしれません。

人は、過剰なストレスによりこころが疲れてくると、「もっと〇〇しておけばよかった」「こんな自分ではこの先きつとうまくやれないだろう」等、過去を悔いたり未来を悲観したり自らを責めてしまいがちになります。あるいは、「こんなことになったのは〇〇のせいだ」等、自分を責めることとは反対に、うまくいかない原因を外にある理由に帰属させ、周囲の人や物事を非難することに忙しくなってしまうこともあります。そして、「欲しいのにないもの、自分の中に足りないもの」あるいは「自分のネガティブな感情を刺激し、排除したくなる存在」の方について目がいきがちです。そんな時には、「不十分かもしれないけど周囲にあるもの、自分の中に持ち合わせているもの」に敢えて注目し、「人は人」「外は外」と、なるべく他者や周囲で起きていることとは距離を取り、「自分が今やれること」に常に立ち戻り

ながら一步一步進めていくことができれば、辿り着きたい場所にきっと近づいていけるはずです。

その際、長い道のりを一気に走り抜けようとしても息切れしてしまいます。また、なかなかゴールが見えてこない途中で気持ちが折れることがあるかもしれません。取り組んでいることに自分で見通しを付けること、長く見える道のりに区切りをつけながら、先を見るのではなくまずは足元の一区間ずつだけを見るようにして歩んでいく心がけが大切ではないかと感じます。例えば、長い階段を上っていく時、「しんどい、もうだめだ」と思っている、そこにもし「あと10段。もう一息！」と表示があればどうでしょう。見通しと励ましでもうひと踏ん張り効くこともあるかもしれません。スモールステップに区切り、見通しを立てながら今できることに集中するといった方法は、勉強面においても、生活面においても一つの工夫と言えます。

「ネガティブ・ケイパビリティ」という言葉をご存じでしょうか。イギリスの詩人ジョン・キーツが最初に記述した言葉ですが、「どうにも答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える能力」もしくは「性急に証明や理由を求めずに、不確かさや不思議さ、懐疑の中にいることができる能力」のことを指します。COVID-19禍のような不安定さや不確かさが蔓延している状況において、人が平穏なこころを保ち、しっかりと生活していくために役立つ能力といえます。上記のような、こころが疲れている時の工夫はそのような力の一例です。

セルフケアを心掛け、心身共に健康な状態を維持していくことはとても大切です。一方で、「自分なりの対処だけではなかなかうまくいかないなあ」と感じた時は、独りで抱えてしまうのではなく、ぜひどこかに、誰かにSOSを発信してください。その一つの選択肢として学生相談室があります。メンタルヘルスの維持に関する相談はもちろん、日常生活で感じる辛さ、苦しさ、イライラ等に関しても遠慮なくお話しいただける場所です。どうぞお気軽にお問合せください。みなさまのご利用をお待ちしております。

(臨床心理士 上野みな子)

■ 学生相談室のご案内

学生生活の中で問題や悩みに出くわしたとき、独りで抱え込むのではなく気軽に相談室をご利用ください。

相談は臨床心理士が担当し、学業、進路、課外活動、将来、対人関係、性格、家族、心身の健康についてなど、事の大小に関わらず学生生活に関わる様々な悩みや問題について幅広い相談をお受けしています。学生ご本人だけでなく、保護者や職員の方からの相談も可能です。

● 相談申込み・問合せ先

学生相談室 育心館4階

相談を希望される方は電話もしくはメールにて予約をお願いいたします。相談は無料です。なお、COVID-19感染拡大防止の観点から原則としてオンライン相談（電話またはTeamsの音声通話）になっておりますが、事情に応じて対面相談も可能ですので、相談方法につきましてはカウンセラーにご相談下さい。その他詳細はお問合せ下さい。

- ・ 開室（受付）時間：月～金 8:45～17:15
- ・ 電話：（075）595-4672（建部） / （075）595-4686（上野）
- ・ メール：gakusou@mb.kyoto-phu.ac.jp

本学で活動しているクラブ・サークルの一部を紹介します。※現在はCOVID-19感染防止のため、一部活動を制限しています。

男子バレーボール部

週3で和気あいあいと活動しており、先輩や仲間たちと楽しい思い出をたくさん作ることができます☆
興味が湧いた方は気軽に公式Twitterの方まで！



女子バレーボール部

体育館での練習、筋トレも頑張っています！初心者でも経験者が丁寧にサポート！ぜひ一緒にバレーをしましょう。



卓球部

京葉卓球部です！のんびり明るく卓球しています！とてもアットホームですよ！ぜひ一緒に卓球しましょう！



ユーベルコール(合唱部)

週に1回活動をし、年に数回、地域のコンサート等に参加しています。

「楽しく歌う」をモットーにしたアットホームな部活です！

美術部

作品は絵でなくても大丈夫！5分間クロッキーなど、ゆとりと昼休みに活動中です。ぜひ入部してください！

アメリカンフットボール部

私たち京都薬科大学アメリカンフットボール部は部員14人、マネージャー10人の計24人で活動しています。

部員の中で、経験者は1人だけとほぼ全員が大学から始めています。アメフトには多くのポジションがあり、体格、スポーツ経験は関係ありません。ポジションごとの役割も全く違うので、自分に合うポジションを選ぶだけでいいのです。また、マネージャーにも一人ひとり役割があり、練習の撮影や選手のケアなど様々なサポートをしています。この大学で何か新しいことがしたいなという人は是非一度、見学に来てみてください。

サイクリング部

週に3回昼休みに自転車に乗って昼練をして、月に1、2回ほどは遠出をして観光地をめぐる。部員のほとんどが大学から始めた初心者です！アットホームな部活でおすすめです。

漢方医学研究部

昼休み週に3回集まり漢方について話し合います。ゆるゆると活動しているため、先輩や同回生と親しくなることが多いです！ほとんどが兼部しているので、気軽にご友人なども誘って覗いてみてくださいね！



管弦楽部

年1回の演奏会に向けて練習しています。初心者、経験者共に大歓迎！是非私たちと一緒に1つの音楽を作り上げませんか？



ヨット部

毎週土曜日、琵琶湖で練習しています！ヨットは馴染みがないスポーツですが全員が初めて！皆で0から楽しめます！充実した学生生活を送れること間違いなし☆



陸上競技部

大学から始めた部員も多く、和気藹々と活動しています！京都の観光地に走りに行くこともあります！



LOD（ダンスサークル）

火、木の週2日、17:00-20:00で活動しています。男女関係なく楽しく練習してます。初心者の方も大歓迎です！

京炎 そでふれ！京躍華

水木の週2回、よさこい系創作おどりをしています！踊り未経験者ばかりなので、初心者でも気軽に入部できます♪今しかできない青春を私たちと一緒に味わいませんか？入部お待ちしております！



軽音楽部

学内イチの部員数で和気あいあいとしています！ライブでは迫力のある演奏でとても盛り上がります！



マンドリン部

マンドリン部は部員全員が仲良しで、学業と両立しながら、メリハリをもって楽しく活動しています！



■ 本学の教員2名が日本薬学会関西支部奨励賞を受賞しました。

本学の教員2名が日本薬学会関西支部奨励賞を受賞しました。

【第1部門（化学系薬学）】

受賞者：薬化学分野 助教 浜田 翔平

演題：ニトロキシル型酸化触媒によるp-メトキシベンジル基の脱保護

【第3部門（生物系薬学）】

受賞者：生化学分野 助教 幸 龍三郎

演題：上皮間葉転換を司るTGF- β シグナルの過剰活性化機構の解明



■ 第10回 4大学連携研究フォーラムにおいて、本学の学生2名が最優秀賞・優秀賞を受賞しました

2020年11月30日にWeb開催の「第10回 4大学連携研究フォーラム」において、本学の学生2名が最優秀賞・優秀賞を受賞しました。

【最優秀賞】

受賞者：細胞生物学分野 5年次生 酒井 智帆

演題：B型肝炎ウイルス様粒子を用いた肝臓特異的な薬物送達キャリアの開発
共同研究者：細川晃平、大川浩史、渡部匡史、上田啓次、藤室雅弘

【優秀賞】

受賞者：薬品物理化学分野 5年次生 中野 未悠

演題：アポEはアイソフォーム依存的にアポA-Iアミロイド線維形成を制御する
共同研究者：扇田隆司、斎藤博幸



■ 乾賢一名誉教授が「Highly Cited Researchers 2020」に選出されました

クラリベイト・アナリティクスの「Highly Cited Researchers 2020」に本学の乾賢一名誉教授が昨年に引き続き選出されました。

Highly Cited Researchers（高被引用論文著者）では、クラリベイト・アナリティクスが、特定出版年・特定分野における世界の全論文のうち引用された回数が上位1%に入る論文を複数発表しており、後続の研究に大きな影響を与えている科学者や社会科学者を選出しています。

※2020 年は世界全体で約6389名（62国・地域）、日本は91名

Pharmacology and Toxicology

名誉教授 乾 賢一

詳細ページ：<https://recognition.webofscience.com/awards/highly-cited/2020/>



■生薬学分野と薬品分析学分野の共同研究論文がJournal of Natural Medicines Award 2020を受賞しました。

生薬学分野と薬品分析学分野の共同研究論文が2021年2月15日（月）にJournal of Natural Medicines Award 2020（論文賞）を受賞しました。

論文名：Antihypertensive constituents in Sanoshashinto

著者：Jianbo Wu, Souichi Nakashima, Marina Shigyo, Mutsumi Yamasaki, Sumire Ikuno, Aoi Morikawa, Shigehiko Takegami, Seikou Nakamura, Atsuko Konishi, Tatsuya Kitade, Hisashi Matsuda

参考URL：<https://www.springer.com/journal/11418/updates/17182512>



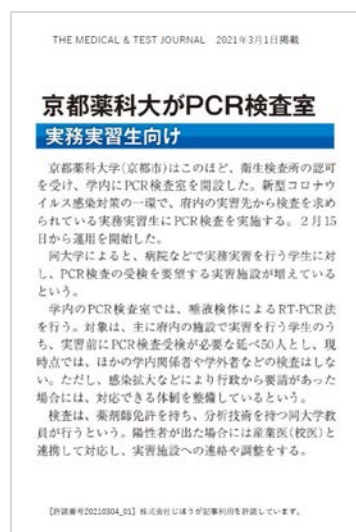
■本学で実施した京都橋大学合同多職種連携教育（IPE）が薬事日報に掲載されました

2020年12月21日に本学で実施した京都橋大学との合同多職種連携教育（IPE）が薬事日報（2021年1月15日夕刊）に掲載されました。



■本学のPCR検査室が読売新聞・薬事日報・THE MEDICAL&TEST JOURNALに掲載されました

本学で開設し、2月15日より運用を開始しているPCR検査室について、読売新聞（2021年2月16日）、薬事日報（2021年2月24日）、THE MEDICAL&TEST JOURNAL（2021年3月1日）に掲載されました。



■新聞記事の一覧についてはこちら

<https://www.kyoto-phu.ac.jp/compendium/paragraph>



下記の方々からご寄附を賜りました。この度のご支援を感謝し御礼申し上げます。

* 高額のご寄附（10万円以上）を頂いた方は、京都薬科大学奨学金規則の別表に掲載させていただきます。

* 敬称略、芳名のみ掲載しております。

2020年12月～2021年2月にご寄附をお寄せいただいた方々

＜卒業生・同期会等（五十音順）＞

イゼリ和代	山岸 伸行
太田 俊作	山岸 亜紀子
好田多恵子	渡辺 温
富田 良知	

＜企業・団体・一般＞

京薬論集刊行会

＜法人役員・評議員・職員等（五十音順）＞

後藤 直正(学長)	高野 江里(課長)	中谷 庄吾(課長)
-----------	-----------	-----------

(2021年2月28日現在)



KPU NEWS No. 205 2021年4月発行／編集：KPU NEWS編集委員会

発行：京都薬科大学 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5 ☎075-595-4691(企画・広報課)

※本誌掲載の文章及び写真の無断転載を禁じます。